

Interview

安城市

株式会社安城電機



- 📍 本社所在地 / 安城市明治本町9番7号
- 🔍 業務内容 / 電気関連事業、ICT事業、電気通信設備工事、消防施設工事、有料職業紹介事業 他
- 👤 従業員数 / 47人(男性 26人・女性 21人)



柔軟な働き方で ライフステージに合わせてキャリアアップ!

👉 三好さんと中西さんにお聞きます。

Q 女性活躍推進の取組が始まった時期をお聞かせください

中西: 10年程前から取組が始まりました。私はその頃、結婚で安城市に移り住み、安城電機に転職で入社しました。妊娠を機に今後のことを前社長に相談したところ、「女性も働きやすい環境になるようにしていこう」と言ってくださいました。そこで子育て中だった三好さんにも相談して社内規定を整備し、育児を取得しました。仕事だけでなく育児の悩みも三好さんに相談していましたね。

三好: 時短制度は、私の正社員登用のタイミングで整備していただきました。困りごとやトラブルは育児明けに起こってくるので、時短がどのくらいの期間必要かなども相談して決めました。中西さんは今も時短中で、私は下の子が小学4年生の頃にフルタイムに切り替えました。

Q 時短勤務はどのように行っていますか?

中西: 皆住んでいるところも違うので、それぞれの事情を加味して、1日の所定労働時間は最低6時間とし、始業開始時間を設定してもらうことにしました。出社時間が柔軟なのはとても助かっています。

Q 時短勤務で業務に支障はありませんでしたか?

三好: 総務部と工事で時短勤務者がいるので、お互いフォローし合うことで業務が滞ることはありませんでした。また、男性社員が多い会社ですが、時短勤務者の状況を理解してくれていて、残業にならないよう配慮してくれました。

Q テレワークもされているそうですね

三好: コロナ禍を機に導入されました。テレワーク

ではすべての仕事は終わらないので、グループ内で相談しつつ、在宅日の調整をしました。現在でも、子どもの病気の時などに活用しています。

Q 有休取得の状況はいかがですか?

中西: 現場を任されている人もプライベートの予定がある時は調整して取得できる環境です。それぞれが仕事に責任をもっていることに加えて、上長の理解もあるからこそ、上手に有休を取得できているのではないかと感じています。

Q 女性社員の活躍の場は広がりましたか?

三好: パートから正社員に登用した人が3人います。仕事をしていくうちに自信がついてライフステージに合わせたキャリアアップを望む人もいたり、女性の離職がなく雇用状況が安定していたりすることは弊社の強みです。新規事業では、職制を問わず募集したところ、キャリアアップしていこうという意欲のある女性社員が応募してくれ、今も活躍してくれています。

Q お二人に役職がついた経緯は?

中西: 前任者の退職に伴う求人に応募したこともあり、採用面接で係長を打診されましたが、業務内容も把握できていない状況での役職は荷が重すぎると感じて辞退しました。しかし、入社後は、社長に同席して金融機関とやり取りする機会も増えていき、仕事が充実していく一方で、「役職がない私のみでは業務の幅が狭まってしまうのではないかと不安に感じることもありました。その後、会社の今後の事業計画や方針を聞き、私で力になれることがあるならと、引受けることにしました。

三好: 中西さんと同じ時期に係長を打診されました。工事事務と総務部それぞれの立場から意見を出し合い、制度を整えて一緒に働く皆さんが働きやすい職場作りをしようと決め、係長の職を引受けることにしました。

Q 役職がついてご自身に変化がありましたか?

三好: 役職についたからこそその質問や相談がたくさん来るようになり、中途半端な答えは出せない、自分が判断するという責任感が芽生えました。

中西: 社外の方と接する機会が多いため、私の発言は会社のイメージにもつながります。肩書によりそういう目で見られるという緊張感があり、背筋が伸びました。

Q お二人の働く喜びは?

中西: ライフステージによって、母・妻などいろいろな顔があると思います。仕事をしていると、どの顔でもなく私は私らしくいられると感じられることですね。

三好: 働いているからこそ、プライベートとの境ができ、いろいろな人との出会いや評価される喜びがあり、両方を充実できるのだと感じています。

